公認スポーツクライミングコーチ3
資格概要

2025年4月1日現在

主催			公益財団法人日本スポーツ協会 公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会
養成目的			国内レベルにおいて、競技者の育成・発掘にあたる指導者を養成する。
役割			広域エリアでのスポーツクライミング競技の強化にあたり、各都道府県山岳連盟（協会）における競技者育成システムの研究開発に参画する。 国民スポーツ大会の選手指導および監督資格とする。
養成講習会に係る内容	受講条件		次の条件をすべて満たした者でなければならない。 (1)受講年度の4月1日現在、満25歳以上 (2)コーチ2の資格取得後3年以上の指導実績を有する者。または平成31年度以前にコーチ1を取得後3年以上の指導実績を有する者 (3)全国大会の競技経験と競技指導経験を有する者 (4)JSPOの所定の共通科目(Ⅲ)を修了、あるいは修了予定の者 (5)都道府県山岳(・スポーツクライミング)連盟(協会)(以下都道府県山岳(・スポーツクライミング)連盟(協会)を岳連(協会)という)に所属し、同岳連(協会)が推薦し、JMSCAが認める者 (6)グレード5.12以上をリードできると判断された者
	受講科目	共通科目	共通科目Ⅲ（150h）
		専門科目	スポーツクライミングコーチ3専門科目（60h）　※別紙カリキュラム表参照
	受講料	共通科目	共通科目Ⅲ：22,000円（税込）／教師：61,600円（税込）※別途リファレンスブック代
		専門科目	受講料：11,000円（税込）※実施団体が別途定める場合がある
	実施方法	共通科目	別に定める共通科目実施要領に基づき日本スポーツ協会が実施する
		専門科目	■講習会 カリキュラム(60時間)に基づき、日本山岳・スポーツクライミング協会が直接集合講習会と通信講習(レポート)により開催する。実際の実施計画については、日本山岳・スポーツクライミング協会と日本スポーツ協会との相談の上実施する。 ■検定試験 日本山岳・スポーツクライミング協会スポーツクライミング指導委員会と強化委員会が作成・出題し、筆記試験、レポート評価、実技検定の総合判定とする。 ■審査 合格者の判定は筆記試験、レポート評価、技能検定の総合判断結果を基に、日本山岳・スポーツクライミング協会スポーツクライミング指導委員会で審査の上、原則として満点の6割以上を合格とする。
登録に係る内容	登録料 (4年間)		基本登録料：10,000円
			資格別登録料：2,000円
			初期登録手数料（初回登録時のみ）：3,300円
	更新登録要件		資格登録有効期限の6カ月までに、最低1回は、日本山岳・スポーツクライミング協会が定める(認める)研修会または日本スポーツ協会(都道府県(スポーツ)協会が実施する(認める)研修を含む)が実施する研修を受けなければならない。
特記事項			

公認スポーツクライミングコーチ3

2025年4月1日現在

区分	カリキュラム内容		時間数		
	No.	科目	集合	その他	計
① 基礎理論	①	スポーツと法律	2.00 h	2.00 h	4.00 h
	②	医学・生理学①（ユースクライマーの障害・アンチ・ドーピング）	2.00 h	2.00 h	4.00 h
	③	クライミング技術と安全	3.00 h	0.00 h	3.00 h
	④	スポーツクライミング競技動向（国内・国際動向及び最新ルール）	2.00 h	1.00 h	3.00 h
	⑤	戦略（情報収集、長期プランニング）	2.00 h	1.00 h	3.00 h
	⑥	医学・生理学②	2.00 h	1.00 h	3.00 h
	⑦	トレーニング（計画・体力・メンタル・コンディショニング）	2.00 h	1.00 h	3.00 h
	⑧	コーチング（指導法・コミュニケーション・プランニング）	2.00 h	3.00 h	5.00 h
	小　計		17.00 h	11.00 h	28.00 h
② 実技・指導実習	①	安全管理①(用具への理解・確保等)	3.00 h	1.00 h	4.00 h
	②	安全管理②(ロープワーク等)	3.00 h	1.00 h	4.00 h
	③	トレーニング基礎	6.00 h	2.00 h	8.00 h
	④	トレーニング（パフォーマンス向上）	6.00 h	2.00 h	8.00 h
	⑤	コーチング実践	6.00 h	2.00 h	8.00 h
	小　計		24.00 h	8.00 h	32.00 h
			41.00 h	19.00 h	60.00 h